

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分		授業の方法	講義演習
科目名	老年援助論 I		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	前期	教室名	2年生教室・実習室
担当教員	松本幸恵 中村裕子	実務経験とその関連資格	医療施設で看護師として勤務していた			
<p>《授業科目における学習内容》</p> <p>老年期にある対象の特徴を理解し、加齢による変化が生活に及ぼす影響を踏まえた上で、高齢者に必要な生活支援を安全に実施する看護援助について学ぶ。高齢者の尊厳と自立の視点をもちながら生活支援に携わる必要性を理解する。</p>						
<p>《成績評価の方法と基準》</p> <p>出席状況、筆記試験での総合的な評価。 筆記試験70% 課題30%</p>						
<p>《使用教材(教科書)及び参考図書》</p> <p>①専門分野Ⅱ 老年看護学概論(南江堂) ②専門分野Ⅱ 老年看護学技術(南江堂) ③専門基礎分野Ⅰ 基礎看護学3 基礎看護技術Ⅱ(医学書院) ④根拠と事故防止からみた 基礎臨床看護技術(医学書院) ⑤プチナース老年看護 ぜんぶガイド(照林社)</p>						
<p>《授業外における学習方法》</p> <p>シラバスに沿って次回授業についての予習を行い授業に臨む。授業後は配布資料・ワークシートや教科書での復習を行う。</p>						
<p>《履修に当たっての留意点》</p> <p>老年看護学概論で学んだ高齢者の特徴や、加齢に伴う身体機能の変化について復習しておくこと。基礎看護技術で学んだ日常生活援助についても復習し、理解したうえで本授業に臨みましょう。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の発達の特徴、環境、健康、看護について理解する	テキスト②⑤ 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅰ章. の範囲を読んでおく。老年看護学概論を振り返っておく 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	現代の高齢者とその理解			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	老年看護におけるヘルスアセスメントの意義を理解する 高齢者のヘルスアセスメントを実施する上でふまえるべき症状の特徴を理解する 高齢者への面接や身体所見を取る際のポイントが理解できる	テキスト②⑤ 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅱ章. の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	老年看護の基本技術 ヘルスアセスメントについて学ぶ			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の加齢変化を踏まえ、コミュニケーション場面に対する看護実践と評価の方法が理解できる。	テキスト②⑤ 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅲ章. 「コミュニケーション」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活と看護 : コミュニケーションについて学ぶ			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の加齢変化を踏まえ、食事場面に対する看護実践と評価の方法が理解できる。	テキスト②⑤ 配布資料	事前課題:テキスト第Ⅲ章. 「食事」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める	
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活と看護 : 食事について			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	摂食・嚥下障害の病態や生理学的特徴、生活に及ぼす影響、看護、および評価について理解する	テキスト②③④⑤ DVD 配布資料 課題シート	事前課題:テキスト第Ⅳ章. 「摂食・嚥下障害」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:課題シートをまとめ提出する	
		各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護 摂食・嚥下障害のアセスメントと看護について学ぶ			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者の加齢変化を踏まえ、安全・安楽に食事介助を実践できる。	実習室にて白衣で実施。食食用具(補助具など)、とろみ剤、聴診器、タオルなど。演習シート、リフレクションシート□	演習までに事前学習・行動計画・目標を記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	高齢者の食事援助技術について		
第7回	演習形式	授業を通じての到達目標	経鼻経管栄養の必要物品、手順、注意点が理解でき、経鼻カテーテルの挿入手技と栄養剤注入の手技が指導の下実施できる。	実習室にて白衣で実施。モデル人形、経鼻カテーテル、イルリガートルなど。演習シート□リフレクションシート□	演習までに事前学習・行動計画・目標を記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	高齢者の食事と看護ケア — 経管栄養について学ぶ		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の排尿・排便障害それぞれの原因とアセスメントと看護について理解できる。高齢者の尊厳を守る排泄ケアを理解できる	テキスト②⑤ 配布資料 課題シート	事前課題:テキスト第三章、「排泄」第四章、「尿失禁」「便秘・下痢」の範囲を読み理解を進めておく。前立腺肥大症の病態生理、症状について復習しておく(30分) 事後課題:課題シートをまとめて提出する
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活と看護:排泄について 高齢者に特徴的な症状と看護:排泄障害のアセスメントと看護について学ぶ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の加齢変化を踏まえ、清潔場面に対する看護実践と評価の方法が理解できる。□	テキスト②⑤ 配布資料	事前課題:テキスト第三章、「清潔」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活と看護:清潔について		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者に特徴的な生活リズムの変調とアセスメントについて理解できる。生活リズムを整えることの重要性について理解し、看護を考えることができる。	テキスト②⑤ 配布資料 課題シート	事前課題:テキスト第三章、「睡眠」第四章、「不眠」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:課題シートをまとめて提出する
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活と看護:睡眠について 高齢者に特徴的な症状と看護:不眠のアセスメントと看護について学ぶ		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	高齢者の日常生活における環境や動作の加齢変化を踏まえ、動作場面に対する看護実践と評価の方法が理解できる。	テキスト②⑤ 配布資料	事前課題:テキスト第三章、「動作と移動」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:授業内容を復習し理解を深める
		各コマにおける授業予定	高齢者の生活と看護:動作と移動について		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	廃用症候群、寝たきりの病態や生理学的特徴、生活に及ぼす影響、看護、および評価について理解する□	テキスト②⑤ 配布資料 課題シート	事前課題:テキスト第四章、「寝たきり」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:課題シートをまとめて提出する
		各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護 廃用症候群、寝たきりのアセスメントと看護について学ぶ		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	褥瘡の病態や生理学的特徴、生活に及ぼす影響、看護、および評価について理解する	テキスト②③④⑤ 配布資料 課題シート	事前課題:テキスト第四章、「褥瘡」の範囲を読み理解を進めておく。 事後課題:演習シートをまとめる
		各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護 褥瘡のアセスメントと看護について学ぶ①		
第14回	演習形式	授業を通じての到達目標	褥瘡の評価を行い、創傷治癒を促進するための処置と予防ケアが指導の下実施できる。	実習室にて白衣で実施。モデル人形、シャワーボトル、石鹸、ガーゼなど。演習シート□リフレクションシート	演習までに事前学習・行動計画・目標を記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	高齢者に特徴的な症状と看護 褥瘡のアセスメントと看護について学ぶ②		
第15回	演習形式	授業を通じての到達目標	高齢者に多い生活上の課題について、事例を通してアセスメントができる。	実習室にて行う。モデル人形、その他必要物品	演習までに事前学習・行動計画・目標を記入しておく。演習後は振り返り記録を提出する。
		各コマにおける授業予定	シミュレーション演習		